



Specialized Field Seminar 報告(その2)

「Specialized Field Seminar」それは、理数科2年生で実施している青鵲課題研究を充実させることを目的として、各学部の大学の先生、学生や大学院生のみなさんに来校いただき、研究室での様子や研究等について語っていただくというものです。SSH 通信第2号では、「数学・情報」と「都市工学」分野についてお知らせしましたが、第3号では、「物理・機械」「化学」「電気・電子」「農学」「医療系」について報告します。まず、5月28日に「化学」「電気・電子」分野が実施されました。「化学」では、佐賀大学の長田聡史教授から、医薬品開発や2026年設置予定の「コスメティックサイエンス学環」についてのお話を伺うことができました。「電気・電子」分野は、佐賀大学の福本尚生准教授から研究内容を紹介いただくとともに、PC を使った実習もさせていただきました。「物理・機械」分野では、6月4日に佐賀大学の佐藤和也教授から、6月25日には同じく佐賀大学の房安貴弘准教授からご自身の研究について興味深いお話を聞くことができました。「医療」分野は本校のOBお二人に協力いただき、6月11日に東京大学の北島正章特任教授による「下水疫学」、18日には西九州大学の馬場才悟教授から、学生（本校OG）の方との対話形式で看護学について教えていただきました。「農学」分野は6月18日に佐賀大学の山中賢一教授から、佐賀大学農学部全体のお話と先生ご自身の研究についてご講演いただきました。その後は研究を進めるためのアドバイスもいただくことができました。

8分野に分かれ、それぞれの興味や関心のある研究に取り組み始めた生徒たちにとって、レベルの高い講演を聞けただけでなく、具体的な助言をいただけたことは有意義でした。次回は、生徒たちが大学を訪問して大学での研究を実体験する「Specialized Laboratory Visit」についてお知らせします。



「化学」分野 長田教授



「電気・電子」分野 福本准教授



「医療」分野 北島特任教授



「医療」分野 馬場教授



「農学」分野 山中教授



「物理・機械」分野 佐藤教授